

平成 2 6 年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書
(平成 2 5 年度対象)

平成 2 6 年 1 1 月

人吉市教育委員会

目 次

〈 は じ め に 〉	1
人吉市教育委員会委員名簿（平成26年11月20日現在） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
1 教育委員会の活動及び運営状況	2
(1) 教 育 委 員 会 の 概 要	2
教育委員会の目的	2
人吉市教育委員会委員（平成25年度の教育委員）	2
(2) 教育委員会の主な活動内容	2
教育委員会の活動状況	2
教育委員会会議	3
① 会議の開催状況（平成25年度実績）	3
② 審 議 状 況	3
教育委員の活動	3
① 教育委員の所管施設訪問状況	3～5
(3) 評 価 ・ 課 題	6
2 点検評価の目的	7
3 学識経験者の知見の活用	7
○ 学 識 経 験 者	7
4 点検評価の対象	8
○ 人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業	8
5 点検評価の結果	8
(1) 点検評価シートの見方	9～10
(2) 事業の評価基準	11
(3) 総合評価基準	11
(4) 点検評価シート	
目次	12
人吉市奨学金貸与事業	13～14
人吉市花まる教室	15～16
夏休み・放課後パワーアップ教室	17～18
学校支援地域本部事業	19～20
スポーツ団体組織強化・指導体制充実事業	21～22
史跡人吉城跡保存整備事業	23～24
歴史的庭園群保存活用事業	25～26
カルチャーパレス大規模改修工事	27～28
図書館まつり	29～30
〈 教 育 方 針 〉	31

〈はじめに〉

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、平成25年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表するものです。

人吉市教育委員会

人吉市教育委員会委員名簿

(平成26年11月20日現在)

委員長	西口 詳一郎
委員(職務代理者)	宮 山 惇
委員	三 倉 範 子
委員	尾 方 篤
委員(教育長)	末 次 美 代

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会の概要

〈教育委員会の目的〉

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないとなっている。

本市においては、人吉市第5次総合計画を上位計画として、人吉市教育振興基本計画に基づいた教育目標の達成に向けて、教育委員会委員及び事務局を中心に高い使命感を持ちながら市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努力している。

〈人吉市教育委員会委員（平成25年度の教育委員）〉

役職名	氏 名	就 任	任期満了
委員長	山本 泰弘	平成10年4月10日	平成26年4月9日
委員（職務代理者）	宮 山 惇 (平25.1.1就任)	平成21年10月1日	平成29年9月30日 (平25.10.1再任)
委員	三倉 範子	平成25年1月1日	平成28年12月31日
委員	尾方 篤	平成25年7月1日	平成29年6月30日
委員（教育長）	堀 秀 行	平成21年7月1日	平成25年6月30日
	末次 美代 (平25.7.1就任)	平成23年7月1日	平成27年6月30日

(2) 教育委員会の主な活動内容

〈教育委員会の活動状況〉

教育委員会の活動としては、教育委員5名で、小学校6校、中学校3校、計9校の学校訪問を行い、教育現場の声を活かした教育行政を推進してきた。

平成26年3月には、玉名市の中高一貫校を訪問し「生きる力」を育む教育指導の体制を視察できたことは、本市教育委員会が行う事業に活用できる有意義な研修であり、さらに教育委員としての見識を深めることができた。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を年14回開催し、審議事項45件、報告・協議等65件について審議・協議を行い、今後取り組むべき事業の方向性を決定した。

更に、「広報ひとよし」を利用し、定例の教育委員会会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指している。

〈教育委員会会議〉

① 会議の開催状況（平成 25 年度実績）

会 議	開 催 数	傍聴者数
定例会	12 回（月 1 回）	11 人
臨時会	2 回	2 人

② 審議状況

（ア）付議案件数

議案	45 件
報告・協議等	65 件

（イ）会議に付された主な案件

- ・人事案件について
- ・教育委員会の点検及び評価について
- ・後援願の承認について
- ・規則・要項の制定及び改正について
- ・奨学生の決定について
- ・一般会計予算について
- ・人吉市学校運営協議会委員の任命について
- ・損害の賠償について

〈教育委員の活動〉

①教育委員の所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

区 分	対 象	期 日	教育委員出席状況
小学校訪問	6 校	平成 25 年 6 月～11 月	延べ 30 人
中学校訪問	3 校		延べ 14 人

（イ）他の主な会議・行事等

会議・行事等	期日	教育委員出席状況
教職員辞令伝達式	平成 25 年 4 月 1 日	4 名
小中学校入学式	平成 25 年 4 月 9 日	5 名
人吉市勤労青少年ホーム講座開講式	平成 25 年 4 月 19 日	1 名
人吉市スポーツ推進委員協議会総会	平成 25 年 4 月 23 日	1 名
人吉市民早起きソフトボール大会開会式	平成 25 年 4 月 24 日	1 名

人吉市子ども会育成連絡協議会総会	平成 25 年 4 月 24 日	1 名
おどんな日本一高校生弓道大会	平成 25 年 4 月 28 日	1 名
おどんな日本一全国少年剣道大会	平成 25 年 5 月 3 日～4 日	延べ 6 名
放課後パワーアップ教室開講式	平成 25 年 5 月 7 日	3 名
人吉市学校支援推進協議会	平成 25 年 5 月 8 日 平成 25 年 7 月 24 日 平成 25 年 11 月 27 日 平成 26 年 1 月 15 日	延べ 4 名
中学校体育大会（三中は大畑小と合同）	平成 25 年 5 月 19 日	3 名
熊本県市町村教育委員会連絡協議会定例会	平成 25 年 5 月 20 日	2 名
小学校運動会（5 校）	平成 25 年 5 月 26 日	4 名
人吉市民早起きソフトボール大会閉会式	平成 25 年 5 月 24 日 平成 25 年 5 月 27 日	延べ 2 名
第 56 回全国都市教育長協議会定期総会 並びに研究大会旭川大会	平成 25 年 5 月 29 日～31 日	1 名
東間コミュニティセンター成人講座 開講式	平成 25 年 6 月 3 日	1 名
校区公民館長会議	平成 25 年 6 月 5 日 平成 25 年 8 月 6 日 平成 26 年 1 月 9 日 平成 26 年 3 月 7 日	延べ 4 名
人吉球磨児童による童話発表大会	平成 25 年 7 月 21 日	2 名
夏休みパワーアップ教室開講式	平成 25 年 7 月 22 日	3 名
人吉市学校給食センター運営委員会 常任委員会・総会	平成 25 年 7 月 23 日 平成 26 年 3 月 17 日	延べ 2 名
熊本県市町村教育委員会連絡協議会役 員会	平成 25 年 7 月 24 日 平成 25 年 9 月 18 日	延べ 2 名
夏休みパワーアップ教室閉講式	平成 25 年 7 月 30 日	5 名
人吉市・指宿市子ども会交歓会	平成 25 年 7 月 31 日	1 名
人吉市子ども会球技大会	平成 25 年 8 月 11 日	1 名
九州地区市町村教育委員会連合会総会	平成 25 年 8 月 22 日	1 名
第 10 回九州地区市町村教育委員研修大会	平成 25 年 8 月 22 日～23 日	5 名
犬童球溪顕彰音楽祭個人コンクール予選	平成 26 年 8 月 24 日～25 日	延べ 2 名
人吉市青少年育成関係 5 団体交流会	平成 25 年 9 月 20 日	1 名
小学校運動会（1 校）	平成 25 年 9 月 29 日	1 名
第 27 回熊本県市町村教育長研修大会	平成 25 年 10 月 3 日～4 日	1 名
人吉城歴史館特別展オープニング	平成 25 年 10 月 4 日	3 名
伊佐市・人吉市親善剣道大会	平成 25 年 10 月 5 日	1 名

第 27 回九州都市教育長協議会定期総会 並びに研究大会（嬉野市）	平成 25 年 10 月 16 日 ～17 日	1 名
人吉球磨総合美展	平成 25 年 10 月 19 日	1 名
ひとよし花まる学園大学開講式	平成 25 年 10 月 19 日	1 名
人吉文化祭	平成 25 年 11 月 2 日	2 名
犬童球溪頭彰音楽祭(碑前祭・学校発表会)	平成 25 年 11 月 8 日	3 名
犬童球溪頭彰音楽祭個人コンクール本選	平成 25 年 11 月 9 日	1 名
第 40 回熊本県 PTA 研究大会ひとよし大会	平成 25 年 11 月 16 日	1 名
犬童球溪頭彰音楽祭音楽の夕べ	平成 25 年 11 月 24 日	1 名
人吉駅伝大会	平成 25 年 12 月 8 日	1 名
人吉市成人式	平成 26 年 1 月 3 日	5 名
おどんな日本一空手道大会	平成 26 年 1 月 5 日	1 名
東西コミュニティセンター成人講座フェ スティバル	平成 26 年 1 月 26 日	1 名
人吉市学校給食費検討委員会	平成 26 年 1 月 27 日	1 名
市町村等新任教育委員研修会	平成 26 年 1 月 29 日	1 名
熊本県市町村教育委員大会	平成 26 年 1 月 29 日	5 名
川上哲治氏追悼記念展	平成 26 年 2 月 1 日	5 名
奨学生選考委員会	平成 26 年 2 月 8 日	1 名
ひとよし春風マラソン大会	平成 26 年 2 月 15 日～16 日	延べ 5 名
人吉市立教育研究所研究発表会	平成 26 年 2 月 21 日	4 名
図書館まつり	平成 26 年 2 月 22 日	2 名
川上哲治氏追悼事業 東京大学・熊本大学交流戦	平成 26 年 2 月 26 日	1 名
東間コミュニティセンター成人講座閉 講式	平成 26 年 3 月 2 日	1 名
放課後パワーアップ教室閉講式	平成 26 年 3 月 11 日	5 名
人吉市勤労青少年ホーム講座閉講式	平成 26 年 3 月 16 日	1 名
教育委員視察研修（玉名市）	平成 26 年 3 月 18 日	5 名
川上哲治氏追悼式典及び関連行事	平成 26 年 3 月 23 日	1 名
小・中学校卒業式	平成 26 年 3 月	延べ 8 名

(3) 評価・課題

- ① 平成 24 年に策定された第 5 次人吉市総合計画のまちづくりの理念のもとで策定された「人吉市教育振興基本計画」を遂行するため、目標達成に向けて学校・家庭・地域社会の連携のもと具体的な事業の取組が始まった。また、今年度も教育委員と市長で懇談の機会を設け、教育委員会と市が目指す方向性を確認するとともに整合性を図りながら教育行政を展開した。
- ② 6 月に市内の 1 小学校をモデル校として人吉市花まる教室の試行がスタートし、10 月からは市内全小学校で 2 年生の希望者を対象に開講することができた。本教室では、空間認識力・論理的思考力・想像力等を高める教材・教具を活用し、児童の自由な発想力を養い、学習意欲を高める等の成果を期待している。児童が工夫された教材に真剣に取り組み、意欲的に参加することができており、保護者からも高い評価を得ている。
- ③ 学校運営協議会（コミュニティスクール）は、市内では平成 18 年度から第一中学校に設置されていたが、10 月に人吉東小学校、11 月に東間小学校に新たに設置された。このことによって、より多くの地域の住民及び保護者等の学校運営への参画を進め、児童生徒の健全育成を目指す取組ができることとなった。学校は、地域住民の理解と協力により学校教育活動に対する様々な支援をうけることができている。
- ④ 児童が快適に学校生活を送れるように、老朽化していた小学校 3 校のプール改築工事や給水設備改修工事を実施した。しかし、第一中学校のプール及び小学校 2 校の給水設備改修工事が必要であるため、国の学校施設環境改善交付金を活用しながら計画的に改善していく。また、東日本大震災の教訓を受け、今後は学校施設の非構造部材の耐震性調査など、さらに施設の充実を図っていく必要がある。
- ⑤ 西瀬小学校鹿目分校、田野小学校、矢岳小学校が平成 26 年 3 月をもって閉校となった。西瀬小学校鹿目分校は、西瀬公民館鹿目分館として活用されることになっており、社会教育の充実が期待できる。矢岳小学校については、老朽化しているため、解体経費の確保が必要である。また、田野小学校の活用については、今後、どのように利活用を図っていくかが課題となっている。
- ⑥ 人吉市カルチャーパレスは昭和 59 年の開館以来、大規模な改修がないまま 30 年近くが経過し、設備等の経年劣化が進み安全性の確保が急務であったため、年次計画を策定し大規模改修工事が始まった。これにより順次、安全性と機能性が再構築される。
- ⑦ 文化財については、青井大神宮内宮・外宮ほか 4 件の指定を行うとともに、国指定史跡である人吉城跡と大村横穴群の保存整備事業を実施した。今後においても、保存・整備を計画的に行うとともに、お庭御覧や市民向けの歴史講座などを通して文化財の積極的な活用を図っていく必要がある。

2 点検評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検評価」が位置づけられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

委員会では、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々なご意見、ご助言をいただき、そのご意見等を参考にしながら教育委員会の点検評価を行ったところです。

○ 学識経験者

長 船 法 文（おさふね のりふみ）氏 市PTA連絡協議会会長
黒 木 明 子（くろき あきこ）氏 元高等学校教諭
深 水 雄 二（ふかみず ゆうじ）氏 元市職員

4 点検評価の対象

平成26年度に点検評価を行う事業は、平成25年度の人吉市教育方針に基づき教育委員会が実施した主要な9事業としました。

○ 人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業

課 名	点 検 及 び 評 価 を 行 う 事 業
教 育 総 務 課	人吉市奨学金貸与事業
学 校 教 育 課	人吉市花まる教室
	夏休み・放課後パワーアップ教室
社 会 教 育 課	学校支援地域本部事業
	スポーツ団体組織強化・指導体制充実事業
歴 史 遺 産 課	史跡人吉城跡保存整備事業
	歴史的庭園群保存活用事業
市 民 文 化 課	カルチャーパレス大規模改修工事
	図書館まつり

5 点検評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら、平成25年度までの行政評価システムに沿って、4項目の観点から事業評価を行い、今後の方向性を示す点検評価を行いました。

点検評価シート(評価対象:平成25年度事業)

1 事業名	教育委員会が行った事務事業名													
2 担当課名	担当課名				担当者名		—							
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称						
		事業の目的に合致した第5次総合計画における政策名称				事業の目的に合致した第5次総合計画における施策名称								
4 誰のために行うか〔受益者〕	誰のために行う事業なのか													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	事業の実施により誰を、どのような状態にしたいのか(意図・ねらい・コンセプト)													
6 事業の実施内容(平成25年度の進捗含む)	事業の全体概要と平成25年度の進捗状況													
7 平成25年度に実施した方向性からの改善	25年度事業実施における改善策													
8 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容							
	事業の実施内容を意識しながら、実施した事業量(活動量)を表す指標				指標の補足説明(指標の算出式等)		学校施設耐震化年次計画に基づき実施した棟数							
9 成果指標	事業を実施する事によって生じる市民の満足度を表す指標				同上		同上							
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H24年度(実績)		H25年度(実績)		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	
		実績値			上に設定した指標の25年度の目標値と実績値		26年度以降の目標値については仮置きの数値であって正式な数値ではありません。							
		<達成度>	—						—		—		—	
	(2) 成果指標	目標値			上に設定した指標の目標値と実績値									
		実績値							—		—		—	
		<達成度>	<0%>		績値				—		—		—	
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～													
	総事業費													
	千円													
	合 計		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円	
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
		③ 起 債												
		④ その他												
		⑤ 一般財源	0		0		0		0		0		0	
12 活動一単位当たりのコスト	—		—		—		—		—		—		—	

(1) 点検評価シートの見方

平成26年度以降の改善 13 等を踏まえた事業の内容	評価の結果において明らかになった問題点や改善する必要が認められた事項に対する今後の具体的な改善策等の案		
14 平成27年度以降の事業 の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	評価の結果を踏まえて、平成27年度以降における当該事業の「方向性」及び「その方向性を選択した理由」
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
⑥移管	☐		

学識経験者の意見
教育に関し学識経験を有する者の意見

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	教育委員会における事業評価と総合評価(評価基準についてはP11のとおり)					
教育委員会における意見						

(2) 事業の評価基準

	評 点				
	4	3	2	1	0
必 要 性	(事務事業に対する市民ニーズ・妥当性・緊急性について)				
	行政が関与する事業で妥当性も緊急性もある	行政が関与すべき事業で妥当性はあるが緊急性はない	行政が関与すべき事業で妥当性はないが緊急性はある	行政が関与すべき事業だが妥当性も緊急性もあまりない	行政が関与する必要はない
有 効 性	(上位施策の目的達成に対する事務事業の貢献度について)				
	高い	やや高い	やや低い	低い	
達 成 度	(成果及び事業の実績の目標に対する達成状況や満足度について)				
	指標が適切で目標どおり達成している	概ね達成している	あまり達成していない	目標、計画値の設定が曖昧。実績値を把握していない	
効 率 性	(費用対効果としてコスト改善について)				
	高い	やや高い	やや低い	低い	

(3) 総合評価基準

区 分	評価結果に基づく改善等の内容
A	計画どおりに事業を進める（拡充を含む）ことが適当（現状どおり管理・運営を進めることが適当）
B	事業の進め方の改善の検討（利用率向上等の改善の検討）
C	事業規模・内容または実施主体の見直しの検討（施設運営主体の見直しの検討）
D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討（休・廃止を含めた施設のあり方の検討）

(4) 点検評価シート（P 1 3 ～ P 3 0）

平成 2 6 年度点検評価シート

(9 事業)

目 次

平成 26 年度 点検及び評価

1、人吉市奨学金貸与事業（教育総務課）	13～14
2、人吉市花まる教室（学校教育課）	15～16
3、夏休み・放課後パワーアップ教室（学校教育課）	17～18
4、学校支援地域本部事業（社会教育課）	19～20
5、スポーツ団体組織強化・指導体制充実事業（社会教育課）	21～22
6、史跡人吉城跡保存整備事業（歴史遺産課）	23～24
7、歴史的庭園群保存活用事業（歴史遺産課）	25～26
8、カルチャーパレス大規模改修工事（市民文化課）	27～28
9、図書館まつり（市民文化課）	29～30

点検評価シート(評価対象:平成25年度事業)

1 事業名			人吉市奨学金貸与事業														
2 担当課名			教育総務課				担当者		—								
3 総合計画における政策体系			政策	コード	名称			施策	コード	名称							
				2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				2	学校教育の充実							
4 誰のために行うか〔受益者〕			人吉市奨学金を受けようとする者														
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕			奨学金制度を積極的に活用してもらうことにより、経済的理由により修学困難な学生に対して学費を貸与し、その能力に応じた教育を受ける機会を与える。また、奨学金制度は、貸与という性格上、当然、返還義務が生じる。確実な返還と滞納額の整理を行うことで奨学金制度の適正な運営を図る。														
6 事業の実施内容（平成25年度の進捗含む）			学校教育法に規定する大学、専修学校又は高等学校に在学する者に対して、学校種別に応じた奨学金を無利子で貸与する。平成25年度は、新規の1名を含め、国公立大学2名、私立大学4名、私立専門学校2名の計8名が奨学金制度を利用した。 奨学金返還については、12月と3月を滞納整理強化月間として位置づけ、現年度分において納付が遅れている元奨学生に対し督促状を、長期滞納者については元奨学生及び連帯保証人に対して催告書を送付した。また、居所不明な者に対しては、追跡調査を行った。さらに、督促状等発送後、納付の見られない者に対しては、電話による催促や自宅訪問を行い滞納額解消の取組を実施した。														
7 平成25年度に実施した方向性からの改善			督促状等の発送だけに止まらず、自宅訪問や電話で直接話しをすることで、滞納者の現在の状況を把握することができた。その結果、返還について今後の細やかな対応を模索することができた。また数年間納付のなかった者からの返還があるなど、効果が得られた。														
8 活動指標			指標名		単位		説明			目標値の設定内容							
			滞納者数		人		過年度及び現年度の滞納者数			督促状または催告書の送付や電話、自宅訪問した滞納者数							
9 成果指標			返還額に対する収入済額		%		現年度返還額及び過年度滞納額の合計に対する収入済額の割合			100%							
10 指標値			H24年度(実績)		H25年度(実績)		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度				
			(1) 活動指標	目標値		19		23		16		0		0			
				実績値		17		23		—		—		—			
				＜達成度＞		＜89.47%＞		＜100.00%＞		—		—		—			
			(2) 成果指標	目標値		100		100		100		100		100			
				実績値		49.8		62.8		—		—		—			
＜達成度＞		＜49.80%＞		＜62.80%＞		—		—		—							
11 事業年次計画			事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費			
			H24 ～ 26		過年度滞納額	6,606	過年度滞納額	7,421	過年度滞納額	6,271	過年度滞納額	0					
			総事業費														
			20,298 千円														
			合 計		6,606千円		7,421千円		6,271千円		0千円		0千円		0千円		
			財源内訳	① 国庫補助金													
				② 県補助金													
				③ 起 債													
				④ その他		6,606		7,421		6,271							
				⑤ 一般財源		0		0		0		0		0		0	
12 活動一単位当たりのコスト			388.6千円		322.7千円												

13 平成26年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	26年度からは、3ヶ月以上納付が見られない者に対しては、現在の未納額をお知らせする通知を発送することで、新しい滞納者が出ないようにするとともに、現在の滞納者との関係が切れないように努める。 また、自宅訪問や電話による督促を行い、滞納強化月間を設けて継続して滞納額解消を図る。		
14 平成27年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	経済的な理由により進学をためらう学生が、奨学金制度の積極的な活用により教育の場を選択できるようにするため、これまでと同様に周知が必要である。 また、奨学金制度は、奨学基金で運営している。確実な返還がなされないと、今後の奨学金貸与事業にも影響が出てくる。滞納額を解消するための活動は継続して行う必要があることから、現状維持が望ましいと考える。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 進学しても就職できない若者も多い現状も事実であるが、借用・返還という基本原則に則り公平性の観点から見ても返還率が100%となるべきであるので、貸与する際の審査等をしっかり行い、返還の遅れている者に対しては、本人だけでなく、連帯保証人に対しても遅滞なく督促等を行っていく必要がある。 ・ 人吉地域からの大学等の進学は経済的な理由で断念せざるを得ない場合が多いので、奨学金制度によって進学等の支援を続けていただきたい。 ・ 将来的には借用せずに修学できることが理想であるが、昨今の景気の動向等からしても明るい兆しが見えてきたとは思われない。本事業の趣旨、目的からして果たすべき役割は多いと思うが、まだまだ承知されていない方もいると思われるので、これまで以上に時宜を得た周知を繰り返し行っていただきたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	2	3	B	
景気の回復が感じられない状況の中、奨学金制度は有効であるが、現在の滞納額では、健全で円滑な奨学金運営に支障がある。滞納額を解消するために現在の滞納者及び保証人への更なる働きかけが急務である。また、新規に奨学金を利用する奨学生と保証人に対しては貸与時に返済について意識付けを確実に行うなど、新たな滞納者が生まれない手立てを行う必要がある。						

点検評価シート(評価対象:平成25年度事業)

1 事業名			人吉市花まる教室																	
2 担当課名			学校教育課				担当者		—											
3 総合計画における政策体系			政策	コード	名称			施策	コード	名称										
				2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				2	学校教育の充実										
4 誰のために行うか〔受益者〕			市内小学校2年生																	
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕			学習を通して、児童の数学的思考力や論理的思考力、空間認識力、判断力、創造力など様々な力を高め、「生きる力」を身につけさせる。																	
6 事業の実施内容（平成25年度の進捗含む）			平成25年6月、人吉東小学校をモデル校としてスタートし、10月から残る5つの小学校においても順次開講した。毎週あるいは隔週に1回、放課後の1時間を利用して行った本事業では、市内の小学2年生の約6割にあたる190人の児童が受講した。花まる学習会の和泉指導員の指導のもと、4人1班でアルゴカードやキューブキューブ、オリジナルワークシートなどの教材を用いた学習に取り組み、どの学校においても、活気に満ち溢れた授業が行われ、学校の授業とは一味違った独特の学習に真剣に入り込む児童の姿がうかがえた。																	
7 平成25年度に実施した方向性からの改善			民間事業者の学習教材とノウハウを取り入れた授業を展開するという、本市初の試みである。花まる学習会指導員と小学校配置の学力充実支援員との連携により、学校の教員の負担を強いることなく、円滑な事業実施が行えた。																	
8 活動指標			指標名		単位		説明		目標値の設定内容											
			学習に参加した児童数		人		参加児童数×開催日数		参加延べ児童数											
9 成果指標			参加児童の満足度		%		参加した子どもアンケートによる満足度		85%											
10 指標値			H24年度(実績)		H25年度(実績)		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度							
			(1) 活動指標		目標値				12,000		12,000									
					実績値				15,580		—		—		—					
					＜達成度＞		—		＜129.83%＞		—		—		—					
			(2) 成果指標		目標値				85											
					実績値				100		—		—		—					
＜達成度＞		＜0%＞			＜117.65%＞		—		—		—									
11 事業年次計画			事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費					
			H25 ～						委託料		6,300		委託料		6,300		委託料		6,300	
			総事業費						需用費		700		需用費		700		需用費		700	
			千円																	
			合 計		0千円		7,000千円		7,000千円		7,000千円		7,000千円		0千円		0千円			
			財源内訳		① 国庫補助金															
					② 県補助金															
					③ 起 債															
					④ その他															
					⑤ 一般財源		0		7,000		7,000		7,000		7,000		0		0	
12 活動一単位当たりのコスト			—		0.4千円															

平成26年度以降の改善 13 等を踏まえた事業の内容	花まる学習会指導員にノウハウを学び、同指導員並みの学習指導が行えるよう、学力充実支援員の資質の向上を図ることで、市独自の授業スタイルの確立と、事業の継続を図る。		
14 平成27年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	新規事業として取り組んだ平成25年度の参加児童数は予想よりも多く、年度末に実施した児童及び保護者のアンケートでも、ほとんどの児童が「とても楽しい」「続けてほしい」と答えている。保護者の回答も、継続を求める声が多数であり、関心と期待の高さがうかがえる。子どもたちの生きる力を養うためにも継続実施が必要であり、現状維持が適当と考える。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ この授業を参観したことがあるが、児童が積極的に参加し意見を述べる姿は頼もしく思う。学校やクラスでのリーダー的な児童・生徒が増えることを願う中、事業を維持しつつも学力充実支援員がこの授業を行えるように進めていただきたい。 ・ 学校での授業にも集中力がつくことを期待している。 ・ 自前での指導員養成を図っていく計画であるが、市行政においても厳しい財政状況の中での事業費投入であるので、事業効果はすぐにでるものではないと思うが、今後、更なる支援をうけるためにも事業効果（成果）の然るべき説明方法等を検討していただきたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
放課後を利用した社会教育の一環として実施する人吉独自のスタイル事業であり、学校の授業とは違った授業形式は、自由な発想力や想像力が培われることが期待でき、児童の興味・関心が高く、また保護者の関心度・満足度も高い。今後、事業を継続していくためには、学力充実支援員の指導技術の向上が図られることが必要不可欠である。						

点検評価シート(評価対象:平成25年度事業)

1 事業名			夏休み・放課後パワーアップ教室																
2 担当課名			学校教育課					担当者		—									
3 総合計画における政策体系			政策	コード	名称				施策	コード	名称								
				2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					2	学校教育の充実								
4 誰のために行うか〔受益者〕			市内小学校3年生(夏休み)、4・5・6年生(放課後)																
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕			市内小学校3・4・5・6年生の基礎学力の定着と向上を図り、学習意欲を高めたい。																
6 事業の実施内容(平成25年度の進捗含む)			教員免許を持つ学習サポーターと保護者・地域住民などの学習サポーター補助が、夏休みパワーアップ教室において、夏休み期間に7日間、1日につき2時間、市内の全小学校3年生の希望児童210人を対象に指導した。また、放課後パワーアップ教室において、4月から翌年3月までの期間、放課後1時間を活用して、4年・5年・6年児童合計397人を対象に指導した。																
7 平成25年度に実施した方向性からの改善			夏休みパワーアップ教室及び放課後パワーアップ教室をより質の高い講座にするため、学習問題の精査を行うとともに、学力充実支援員を継続して7人雇用し、その準備・運営が円滑に行われるよう定期的に連絡会議を開催するなど強化に努めた。																
8 活動指標			指標名		単位		説明		目標値の設定内容										
			学習に参加した児童数		人		参加児童数×開催日数		参加延べ児童数										
9 成果指標			参加児童の満足度		%		参加した子どもアンケートによる満足度		85%										
10 指標値			(1) 活動指標		H24年度(実績)		H25年度(実績)		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度				
					目標値		18,000		15,540		12,200		12,200		12,200		12,200		
					実績値		12,904		11,533		—		—		—		—		
			(2) 成果指標		達成度		<71.69%		<74.21%		—		—		—		—		
					目標値		85		85		85		85		85		85		
					実績値		85		92		—		—		—		—		
			達成度		<100.00%		<108.59%		—		—		—		—		—		
11 事業年次計画			事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費			
			H23 ～		報酬	9,120	報酬	9,240	報酬	9,240	報酬	9,240	報酬	9,240	報酬	9,240	報酬	9,240	
			総事業費		社会保険料	1,412	社会保険料	1,440	社会保険料	1,440	社会保険料	1,440	社会保険料	1,440	社会保険料	1,440	社会保険料	1,440	
			千円		需用費	135	需用費	100	需用費	100	需用費	100	需用費	100	需用費	100	需用費	100	
			合 計		10,667千円		10,780千円		10,780千円		10,780千円		10,780千円		10,780千円		10,780千円		
			財源内訳	① 国庫補助金															
				② 県補助金															
				③ 起 債															
				④ その他															
				⑤ 一般財源		10,667		10,780		10,780		10,780		10,780		10,780		10,780	
12 活動一単位当たりのコスト			0.8千円		0.9千円														

平成26年度以降の改善 13 等を踏まえた事業の内容	☐ 学習サポーターを確保し、それぞれの子ども状況に即したきめ細かい指導を行っていく。 ☐ 学力充実支援員の資質等の向上を図るために研修等を実施する。		
14 平成27年度以降の事業 の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	パワーアップ教室の目的を達成するために、学習サポーター及び学力充実支援員との協議を行うほか、受講児童や保護者のアンケートを実施し、より効果の上がる、充実した運営を図るための努力を行っているところであり、本事業に対する保護者の期待も大きいことから、現状維持が望ましい。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 基礎的な学力を身につけて欲しいというのが、親の一番の願いでもある。パワーアップ教室でこれからも基礎学力をつけてもらいたい。 ・ 学力充実支援員の資質の向上を図って欲しい。 ・ 対象者が多くなれば当然、サポーターや学力充実支援員の数の確保と内容の充実も求められるので、アンケートによる事業効果の表現ではなく、具体的な事業効果の説明が必要と思われる。そのことにより、予算増にもつながるのではと思う。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
児童の基礎学力の定着を支援する取組は、安定した学級経営の面からも必要性がある。今後も学習サポーター等の数の確保と安定的な運営に努め、継続して行っていく必要性のある事業である。						

点検評価シート(評価対象:平成25年度事業)

1 事業名	学校支援地域本部事業												
2 担当課名	社会教育課						担当者		—				
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称				
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					1	社会教育の推進				
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内小中学校の児童・生徒及び教職員												
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	学校と地域の連携体制を構築し、地域全体で学校教育の充実と地域教育力の活性化を図るとともに、地域ぐるみで子どもたちに関わり、見守り育てていく環境をつくる。												
事業の実施内容 6 (平成25年度の進捗含む)	平成20年度に文部科学省の委託事業として始めた本事業も平成23年度からは県の補助事業として継続。平成24年度末から地域コーディネーターを1人から2人へ増員し、学校と学校支援ボランティアの連携、ボランティア間の交流が促進された。特別活動や環境整備の支援、教科・総合学習での実習支援など地域の人材が学校に来ることにより、地域に開かれた学校づくりにもつながっている。												
7 平成25年度に実施した方向性からの改善	本事業に対する教職員・地域への理解を深めるための啓発活動、学校・ボランティアの交流を図る機会を設け、さらなる本事業の活性化を図った。												
8 活動指標	指標名			単位		説明			目標値の設定内容				
	学校支援活動回数			回		学校支援活動回数			コーディネーター複数化により学校支援の掘り起しが可能となるため増増				
9 成果指標	学校支援活動受益者(児童・生徒)数			人		児童・生徒数(のべ人数・概数)			活動回数の増加を勘案し設定				
10 指標値	(1) 活動指標		目標値	H24年度(実績)	H25年度(実績)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度				
			実績値	150	170	200	200	200	200				
			<達成度>	133	152	—	—	—	—				
	(2) 成果指標		目標値	<88.67%>	<89.41%>	—	—	—	—				
			実績値	18,000	20,000	22,000	22,000	22,000	22,000				
			<達成度>	20,100	25,000	—	—	—	—				
	総事業費		千円	<111.67%>	<125.00%>	—	—	—	—				
目標値			11,000	12,000	13,000	13,000	13,000	13,000					
合 計		千円	11,000	12,000	13,000	13,000	13,000	13,000					
		実績値	11,000	12,000	13,000	13,000	13,000	13,000					
11 事業年次計画 財源内訳		事業の期間	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	
		H20 ~	報酬	1,414	報酬	1,872	報酬	2,424	報酬	2,424	報酬	2,424	
		総事業費	消耗品	11	消耗品	12	旅費	7	旅費	7	旅費	7	
		千円	印刷製本	68	印刷製本	72	需用費	77	需用費	77	需用費	77	
		合 計	1,493千円	1,956千円	2,508千円	2,508千円	2,508千円	2,508千円					
財源内訳	① 国庫補助金												
	② 県補助金	730	730	686	686	686	686						
	③ 起 債												
	④ その他												
	⑤ 一般財源	763	1,226	1,822	1,822	1,822	1,822						
12 活動一単位当たりのコスト	11.2千円		12.9千円										

平成26年度以降の改善 13 等を踏まえた事業の内容	本事業の活用は安定化してきており、今後は本事業に対する地域や保護者の理解を深めるための啓発活動や、ボランティアの獲得に努める。		
平成27年度以降の事業 14 の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	学校による本事業の活用は安定化してきており、新たな活用の掘り起しよりも、今後、安定的に継続するために、ボランティアの高齢化への対応、新たなボランティアの獲得に主眼を置く。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 地域コーディネーターの存在は、この事業の大きな柱と思う。学校とボランティア員のパイプ役として取り組んでいただき、負担や不満を軽減させ、より一層の活性化を図っていただきたい。 ・ 近年は事件等が多く、子どもたちが安心して生活できない状況もあるので、これからも地域の多岐にわたる支援が必要である。 ・ 事業に関わるボランティアの方の確保が課題である。 ・ 学校や地域によって支援のあり方、やり方は違うと思うが、いろいろな団体等との連絡会議や意見交換の場はあると思う。交流を盛んにして内容の充実を図っていただきたい。併せて、本事業の周知を図り、ボランティアの幅広い分野からの確保にも力を注いでいただきたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
住民の知識・経験を生かし地域全体で学校を支援する活動は、教員の負担軽減はもちろんのこと、地域の連帯感を形成するといった素晴らしい成果を上げている。しかしながら、住民ボランティアの高齢化や、平日昼間の活動が多いことから、実働できる人材確保が課題となっており、本事業のPRに力を注ぎ、会員のすそ野を広げていく必要がある。						

点検評価シート(評価対象:平成25年度事業)

1 事業名		スポーツ団体組織強化・指導体制充実事業													
2 担当部課名		社会教育課(スポーツ振興係)						担当者		—					
3 総合計画における政策体系		政策	コード	名称				施策	コード	名称					
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					5	スポーツの振興					
4 誰のために行うか〔受益者〕		スポーツ団体													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕		団体の組織力の強化と指導者育成													
6 事業の実施内容(平成25年度の進捗含む)		NPO法人人吉市体育協会、人吉市スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団への補助金交付													
7 平成25年度に実施した方向性からの改善		スポーツ振興係が事務局としてサポート、指導													
8 活動指標		指標名				単位		説明			目標値の設定内容				
		県体の総合成績				位		県体の成績			前年度比較				
9 成果指標		スポーツパレス利用者数				人		主催大会の参加者の増加			前年度実績				
10 指標値		(1) 活動指標		H24年度(実績)		H25年度(実績)		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				目標値		5		5		4		4		3	
				実績値		5		—		—		—		—	
		(2) 成果指標		〈達成度〉		—		〈100.00%〉		—		—		—	
				目標値		120,000		120,000		120,000		120,000		120,000	
				実績値		115,610		122,626		—		—		—	
11 事業年次計画		〈達成度〉		〈96.34%〉		〈102.19%〉		—		—		—			
		事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費	
		～ H29		体協		8,107		体協		7,698		体協		7,620	
12 活動一単位当たりのコスト		総事業費		少年団		200		少年団		190		少年団		190	
		千円		推進委員		1,322		推進委員		1,744		推進委員		1,744	
		合計		9,629千円		9,632千円		9,554千円		9,554千円		9,554千円		9,554千円	
		財源内訳		① 国庫補助金											
				② 県補助金											
				③ 起債											
		④ その他													
		⑤ 一般財源		9,629		9,632		9,554		9,554		9,554		9,554	
12 活動一単位当たりのコスト		—		1,926.4千円											

平成26年度以降の改善 13 等を踏まえた事業の内容	市民誰もが気軽に、安全にスポーツや運動に取り組める環境づくりを進めている。		
14 平成27年度以降の事業 の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	スポーツ推進基本計画を策定し、その計画の実現に向けて、スポーツ団体の意識の統一を図りながら、様々なスポーツ振興施策を進める。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見	
・ 小学校の社会体育への移行を見据えた指導者育成をお願いしたい。また、スポーツ推進基本計画では、総合運動施設や合宿施設などの検討もお願いしたい。 ・ 人吉市民の健康推進のためにも、活用できる施策をして欲しい。 ・ 指標値の表し方に一考ありと思う。種目によってこれまでの経緯・実績・歴史等もあるので一概には言えないが、団体への補助金交付にあたっては、単に加盟者数だけでなく、それぞれの種目を多角的な視点から見て育成していくことも必要であると思う。	

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	3	4	3	4	B	
現在は、スポーツ団体が各分野で大きな貢献を行っている事業である。更にスポーツを通じた交流の推進や市民のスポーツニーズに対応するための各団体の組織・指導体制は着実に、継続的に行う必要がある。						

点検評価シート(評価対象:平成25年度事業)

1 事業名		史跡人吉城跡保存整備事業																										
2 担当課名		歴史遺産課					担当者		—																			
3 総合計画における政策体系		政策	コード	名称			施策	コード	名称																			
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				4	歴史遺産の保存と活用																			
4 誰のために行うか〔受益者〕		来訪者、市民																										
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕		史跡来訪者には史跡としての人吉城を体感してもらい、市民にとっては心の拠り所となり、さらには市民が積極的に活用できる史跡としての在り方を目指す。																										
6 事業の実施内容（平成25年度の進捗含む）		昭和36年の国史跡指定以降、国・県の助成を得て保存修理事業を進め、昭和59年度の「史跡人吉城跡保存管理計画書」策定後は、計画書に基づきながら整備を行ってきた。今後は、平成22年度に策定された「史跡人吉城跡保存管理計画書第2版」に基づきながら、緊急性・優位性の高い事業を優先して実施していく。平成25年度は、大手門跡南側において、根株など支障物の撤去や石段修復工事を行うとともに、整備のための測量設計業務委託を行って、26年度の整備工事に向けて準備が整った。また、私有建物1件の移転補償・解体撤去を行った。																										
7 平成25年度に実施した方向性からの改善		平成22年度策定の「保存管理計画書第2版」に基づくとともに、大学教授などの学識経験者で構成される「史跡人吉城跡保存整備専門指導会議」において整備内容の検討を行ったうえで、事業実施している。																										
8 活動指標		指標名		単位		説明			目標値の設定内容																			
		整備進捗率		千円		平成21年度までの1,199,946千円を基準として年度ごとの実績額を加算			総事業費1,500,000円																			
9 成果指標		人吉城跡来訪者数		人		平成19年度から前年度までの人吉城歴史館入館者数平均値を100%として			平成19年度から平成24年度までの入館者数平均15,540人																			
10 指標値		(1) 活動指標	目標値		H24年度(実績)		H25年度(実績)		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度													
			1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000															
			実績値		1,240,044		1,263,484		—		—		—		—													
		(2) 成果指標	＜達成度＞		＜82.67%＞		＜84.23%＞		—		—		—		—													
			目標値		14,921		15,540		15,702		15,702		15,702		15,702													
			実績値		18,638		16,671		—		—		—		—													
11 事業年次計画		事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費										
		～		整備関連		8,732		整備関連		4,461		整備関連		11,530		整備関連		50,000		整備関連		15,000		整備関連		15,000		
		総事業費				史跡購入		18,979		整備関連		4,556																
		千円																										
		合 計		8,732千円		23,440千円		16,086千円		50,000千円		10,000千円		20,000千円														
		財源内訳	① 国庫補助金		4,350		17,413		8,041		25,000		5,000		10,000													
			② 県補助金		0		0		804		2,500		1,000		1,000													
			③ 起 債																									
			④ その他																									
			⑤ 一般財源		4,382		6,027		7,241		22,500		4,000		9,000													
12 活動一単位当たりのコスト		0.0千円		0.0千円																								

平成26年度以降の改善 13 等を踏まえた事業の内容	阻害要因はなく、今後も修理修復、整備を主として緊急性・必要性の高い事業を予定しているため、継続して鋭意事業に取り組んでいく。		
平成27年度以降の事業 14 の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	史跡人吉城に関する事業としては、昭和36年の国指定時から、これまでも継続して緊急性・必要性の高い事業を実施してきており、今後も引き続き事業を展開していくことが望ましい。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 国宝青井阿蘇神社と並び人吉市の象徴として、城跡の保存整備は必要不可欠なものとする。城跡のスケッチ大会を公募するなど、地元の子どもたちや地域の方々に足を運んでもらうためのPRも必要と思う。 ・ 人吉城跡は観光ポイントとしても大きな存在である。来訪者や市民にとって安全で歴史的価値のある文化遺産として保存していく努力を続ける必要がある。 ・ 数十年を要し、ようやく市役所本庁舎移転計画実現の最終場面を迎えたと思う。跡地のあり方、活用の計画等は未定とのことであるが、後世への大事な財産の賜り物であるので、文化庁の指導・制約等だけに縛られず幅広く市民の声を聴き、時間をかけて進めていただいきたい。 ・ 「保存管理計画書第2版」に基づく整備事業を鋭意進めていただきたい。ただ、年次計画にない箇所、安全面から即対応すべきところもあると思われるので、日々の点検・調査をはじめ、補修等の工事への遅滞ない取り掛かりも必要と思う。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
人吉城跡は市を代表する重要な歴史遺産である。今後は、具体性を帯びてきた市庁舎移転計画に伴い、保存管理計画の部分的な見直しも考慮しながら、市民にとって心の拠り所となるような史跡づくりを目指して事業を推進していく必要がある。						

点検評価シート(評価対象:平成25年度事業)

1 事業名	歴史的庭園群保存活用事業													
2 担当課名	歴史遺産課						担当者		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					4	歴史遺産の保存と活用					
4 誰のために行うか〔受益者〕	来訪者・市民													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	市内各所にある歴史的庭園を再生し、歴史的遺産としての評価を行い、市民財産とするとともに、観光スポットとする。													
事業の実施内容 6 (平成25年度の進捗含む)	市内にある歴史的庭園について、その価値や特徴を明らかにして、歴史遺産として評価し、周遊性を持った庭園めぐりを構築する。「お庭御覧」と題して、平成23年度に第1回を開催、日本を代表する作庭家、野村勘治氏をお招きし、1日目は作庭と庭園鑑賞のポイントを学ぶ臨地講習を実施、身近な庭園が本来の姿にみえ、あつていく様を体験した。また、2日目は数か所の庭園を野村氏の解説を聞きながら回る庭園めぐりを行った。多くの庭園ファンが参加され、歴史性豊かで奥深い人吉の庭園文化を満喫していただいた。平成25年度は、井口八幡神社庭園を題材に地元町内会のご協力のもと臨地講習とミニ講演会を開催、庭園めぐりは同庭園外9か所の庭園を訪れた。													
7 平成25年度に実施した方向性からの改善	庭園を活かした観光施策との連携として、来訪者や観光客に庭園の価値や特徴を説明する解説板の設置やパンフレットの作成を行った。													
8 活動指標	指標名		単位		説明		目標値の設定内容							
	お庭御覧実施回数		回		お庭御覧の年度開催予定数		年度当初開催予定回数							
9 成果指標	お庭御覧参加者数		人		2日間の参加者数合計		前年度お庭御覧の参加者数を目標値として							
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H24年度(実績)		H25年度(実績)		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	
		実績値	1		1		1		1		1		1	
		<達成度>	<100.00%>		<100.00%>		—		—		—		—	
	(2) 成果指標	目標値	107		65		107		107		107		107	
		実績値	65		107		—		—		—		—	
		<達成度>	<60.75%>		<164.62%>		—		—		—		—	
	11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容
～		お庭御覧	269	お庭御覧	279	お庭御覧	272		489		390		290	
総事業費		解説板設置	148	解説板設置	183	解説板設置	199							
千円														
合 計		417千円		462千円		471千円		489千円		390千円		290千円		
財源内訳		① 国庫補助金												
		② 県補助金												
		③ 起 債												
		④ その他												
		⑤ 一般財源	417		462		471		489		390		290	
12 活動一単位当たりのコスト	417.0千円		462.0千円											

13 平成26年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	名勝指定や名勝登録を進めるためには、庭園図作成は不可欠である。また、庭園を活かした観光施策との連携では、来訪者や観光客に庭園の価値や特徴を説明する解説板(野村氏監修)の設置やパンフレットの作成、観光ルートの組み入れなど継続的な事業展開が必要である。現在、庭園図作成や解説板設置を随時行っているところである。		
14 平成27年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	「お庭御覧」に参加している庭園所有者の主体的な参加と地元住民や市造園業組合員など、庭園の管理団体の育成が今後の管理運営を行っていくうえで重要であり、推進体制を整えていく必要がある。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 観光スポットとして大きく活用できる事業だと思うので、観光協会やJR、くまがわ鉄道とコラボレーションした事業展開を望む。 ・ 既存の日本庭園を歴史的に評価し観光ルートに組み入れることは、人吉の観光名所が増えて期待できる。 ・ 庭園図、解説版の設置を計画しているが、他の観光地同様、英語以外の文字での案内も当然必要と考えるので、検討をお願いしたい。 ・ 来訪者ばかりに目を向けず、地元のいいものを市民に知っていただくために、町内会や老人会等を対象に庭園めぐりなどを行うのもいいのではないかと。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
歴史的庭園の特色ある空間と庭園めぐりを効果的に組み合わせ、歴史的価値の保存と新たな観光スポットとして位置づけるなど、高く評価できる事業である。さらに市内外に広くPRするため、外国版の案内板やパンフレットの作成など多様なニーズに合わせての対応が必要である。						

点検評価シート(評価対象:平成25年度事業)

1 事業名			カルチャーパレス大規模改修工事																			
2 担当課名			市民文化課				担当者		—													
3 総合計画における政策体系			政策	コード	名称			施策	コード	名称												
				2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				3	市民芸術・文化の振興と継承												
4 誰のために行うか〔受益者〕			会館利用者（舞台出演者・観覧者・会議室利用者等）																			
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕			カルチャーパレスは、昭和59年10月の開館以来、今日まで舞台機構、照明、音響などの主たる改修が一度も行われないまま30年近くが経過し、以前から保守点検業者からも改修の必要性を指摘されていたが、メンテナンス及び部分補修のみで対応してきた。ここに至り、設備等の経年劣化や現在の芸術性構築に必要な機能の不備等・安全性・安定性の確保が非常に難しくなってきたため、大規模な改修を行うものである。																			
6 事業の実施内容（平成25年度の進捗含む）			●平成25年度 舞台機構手動操作機器改修工事（大・小ホール）、舞台調光装置設備工事（大ホール）、防災用自家発電機改修工事（コミュニティ棟） ●平成26年度 ≪小ホール≫舞台照明設備改修工事、舞台機構改修工事 ●平成27年度 ≪大ホール≫舞台機構改修工事（マシン部分） ●平成28年度 ≪大ホール≫舞台照明設備改修工事 ●平成29年度 ≪大ホール≫音響設備改修工事 ●平成30年度 ≪大ホール≫舞台機構改修工事、IT設備改修工事、≪小ホール≫音響設備改修工事 ●平成31年度 ≪コミュニティ棟≫エレベーター設備改修工事																			
7 平成25年度に実施した方向性からの改善			平成25年度は、大・小ホールの改修工事を行ったが、工事期間、どちらのホールも使用できず、利用者の方に迷惑をかけた。よって、平成26年度からは、片方のホールは利用できるように配慮して工事場所、工種の選定を行い実施していく。さらに、大ホール工事は、舞台機構と照明工事が二度手間にならないように工事を調整していく必要がある。																			
8 活動指標			指標名		単位	説明				目標値の設定内容												
			工事における工種の件数		件	計画における工種の件数				工事における工種の件数は14												
9 成果指標			工事における工種の完了件数		件	年度ごとに完了した工種の件数				完了した場合の工種の件数14												
10 指標値			(1)		目標値		H24年度(実績)		H25年度(実績)		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度					
					実績値		14		14		14		14		14							
			活動指標		達成度		—		＜28.57%＞		—		—		—		—					
					達成度		—		—		—		—		—							
			(2)		目標値		14		14		14		14		14		14					
					実績値		4		—		—		—		—		—					
成果指標		達成度		＜0%＞		＜28.57%＞		—		—		—		—								
		達成度		—		—		—		—		—		—								
11 事業年次計画			事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費			
			H25 ～ H31						調光設備		102,900		小ホール				大ホール				大ホール	
			総事業費						舞台機構		9,198		照明設備		81,000		舞台機構		137,500		照明設備	
			947,487 千円						発電設備		28,770		舞台機構		66,657		マシン部分				音響設備	
			合 計						その他		7,620		その他		529							
			財源内訳		① 国庫補助金		0千円		148,488千円		148,186千円		137,500千円		131,760千円		125,000千円					
					② 県補助金				0		0											
					③ 起 債				0		0											
					④ その他				32,900		75,000											
					⑤ 一般財源				105,000		47,657											
12 活動一単位当たりのコスト			0		10,588		25,529		137,500		131,760		125,000									
			—		37,122.0千円																	

平成26年度以降の改善 13 等を踏まえた事業の内容	平成26年度からは、片方のホールは利用できるように配慮して工事場所、工種の選定を行い実施する。さらに、大ホールの工事は、舞台機構と照明工事が二度手間にならないように工事を調整していく必要がある。平成26年度は小ホールに重点を置き、舞台機構と照明工事を実施し、工事期間中は大ホールは使用出来る状態にした。		
平成27年度以降の事業 14 の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☒	カルチャーパレスは、昭和59年10月開館以来、今日まで「舞台機構」「照明」「音響」などの主たる改修が一度も行われず、30年近く経過し、利用者の安全性の確保が危ぶまれていた。このような中、平成24年度改修調査及び基本設計業務委託を実施し、平成25年度から短期(3年以内)・中期(5年以内)・長期(5年以上)に分けて改修工事にとりかかる。継続的に工事を遂行していく計画において、予算的にも増大する見込みのため「拡大」とした。
	②現状維持	☐	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
・ 利用する側も管理する側も納得のいく改修をお願いしたい。大型プロジェクター導入や利用者がインターネットを利用できる(会議室を含む)環境などもその一つと考える。また、図面等も電子化して後々使えるように対応した方がいいと思う。 ・ 演奏会中に音響の不備により、雑音が入り大変聞きづらい出来事があった。機器の改修とともに管理運営にも心がけていただきたい。 ・ 年次計画で進められる予定だが、特に安全面での工事は早期完成を望む。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	A	
人吉球磨で文化や芸術を体感できる貴重な施設である。市民がこれまで同様に文化や芸術に触れる機会を維持しつつ、時代のニーズに応じた快適で安全な利用のための施設環境の整備を進めていく必要がある。						

点検評価シート(評価対象:平成25年度事業)

1 事業名			図書館まつり																					
2 担当課名			市民文化課(図書館係)					担当者		—														
3 総合計画における政策体系			政策	コード	名称				施策	コード	名称													
				2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					1	社会教育の推進													
4 誰のために行うか〔受益者〕			市民全般・来館																					
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕			図書館まつりを通して、人吉市図書館の所蔵資料・各種活動を紹介し、市民及び利用者に更なる図書館の利用促進を図るとともに、読書活動を推進する。																					
6 事業の実施内容(平成25年度の進捗含む)			平成26年2月22日(土)～23日(日)に開催した。内容としては、平成25年10月～11月に募集した読書感想画コンクールの優秀作品表彰式と応募作品の全点展示、劇団による人形劇の公演、紙芝居・雑誌資料の展示、成人者向け講演会、ブックリサイクル等をおこなった。結果、市図書館所蔵資料の紹介、情報の提供及び活動の広報・PRができ、更に図書館を利用してもらうための働きかけをおこなうことができた。																					
7 平成25年度に実施した方向性からの改善			今回の図書館まつりでは、人吉市図書館及び市役所で所蔵する資料の他、市民の方々にも協力を求めた。展示においては、むかしの紙芝居・雑誌等を所蔵している方から資料を提供いただき、展示の充実を図ることができた。また、講演会においても、地元であったできごとを題材にして絵本を作られた市民の方を講師として招き、お話しいただく等、展示・講演の両面で市民の力を活用しながら取り組むことができた。																					
8 活動指標			指標名		単位		説明		目標値の設定内容															
			図書館まつり参加者数		人		図書館まつりイベント参加者数		当該年度参加者数															
9 成果指標			人吉市図書館の利用者数		人		人吉市図書館の年間貸出人数		H24度の目標値は19～23年度平均値の3%増で算出し、H26年度以降は増加分を毎年増加する															
10 指標値			(1) 活動指標		H24年度(実績)		H25年度(実績)		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度									
					480		500		520		540		560		580									
					485		506		—		—		—		—									
			(2) 成果指標		<達成度>		<101.04%>		<101.20%>		—		—		—									
					目標値		23,754		23,954		24,150		24,350		24,550		24,750							
					実績値		24,739		24,871		—		—		—		—							
11 事業年次計画			事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費					
			～		報償費		78		報償費		63		報償費		91		報償費		91		報償費		91	
			総事業費		需用費		40		需用費		41		需用費		29		需用費		29		需用費		29	
			千円		使用料等		178		使用料等		179		使用料等		233		使用料等		234		使用料等		234	
			合 計		296千円		283千円		353千円		354千円		354千円		354千円		354千円		354千円					
			財源内訳		① 国庫補助金																			
					② 県補助金																			
					③ 起 債																			
					④ その他																			
					⑤ 一般財源		296		283		353		354		354		354		354		354			
12 活動一単位当たりのコスト			0.6千円		0.6千円																			

13 平成26年度以降の改善等を踏まえた事業の内容	市図書館では、図書館利用を促進する目的で、図書館まつりの他、七夕お楽しみ会、子ども読書フェスタ等、各種イベントを年間を通し実施している。しかし、窓口業務と並行しながらのイベント実施であるため、準備にかかる時間が十分確保できない、図書館スタッフ全員がイベントに従事できず、最少の人数で当たらなければならない等、課題も多々ある。そこで、イベントメニューと開催時期を見直し、内容の改善・充実を図ることとした。そのため、秋の一日司書体験を春に回し(子ども読書フェスタ)、図書館まつりは、2月から11月へと開催時期を変更し、イベント実施の効率化を図った。		
14 平成27年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	☐	図書館の利用促進を図るうえで、イベントが有効な集客手段であることは間違いない。とりわけ図書館まつりは、童話発表大会とともに、図書館における大きなイベントのひとつである。限られた予算、人員、窓口業務との並行開催等、数々の課題があるなかで、いかに利用者の関心を引き、喜ばれ、そして、所期の目的である図書館の利用促進、読書活動の推進に繋がれるか、これまでの内容を十分精査し、従来通りではない、タイムリーな企画で図書館利用者を更に開拓できるイベントにして行きたい。
	②現状維持	☒	
	③縮小	☐	
	④廃止	☐	
	⑤完了	☐	
	⑥移管	☐	

学識経験者の意見
- 限られた予算、人員の中での充実した企画運営は頼もしく思う。 毎月発行の「図書館だより」は素晴らしい内容で、例えば10月号の家族の時間プロジェクトのイベント企画は称賛に値すると思う。立地条件は、決していいとは言えないが、利用者の促進・維持に成果を上げている事業と思う。 - 最近では活字離れの傾向が見られるので、各種のイベント等で集客を図り、図書館の利用を促進させて欲しい。 平成26年度からは、時期を11月に変更して図書館まつりを開催するとのことで、集客が図りやすいと思う。 - 活動指標と成果指標から利用促進が図られていると思う。今後さらに充実していくためには、市や教育委員会の各種イベント、会議などとの連携が図られれば、スタッフの数などの問題も少しは改善でき、併せて事業効果も上がるのではないかな。 - 年1回の開催にとどまらず、回数を増やしてもいいのではないかな。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
最近の情報化により活字離れが危惧される中、図書館の利用促進と情報発信のために毎年検証と改善を重ねて実施されているのは評価できる。今後も常連の利用者以外の幅広い年齢層の利用者獲得のため、他のイベントとの連携や市民を巻き込んだ企画運営など工夫を凝らした事業の推進を期待する。						

<教育方針>

《 基 本 理 念 》

本市は、「市民が様々な可能性を追求することができ、かつ美しい自然や歴史を未来に継承しながら、活気と賑わいに満ちた健康で笑顔で暮らせるまちづくり」を進めています。本市教育は、このまちづくりの理念のもと、市民一人一人が自ら学ぶ意欲を養うことで、将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人間力（人として生きる力）を育み、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指します。

このため、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力しながら、社会状況の変化に対応する教育の向上に取り組み、豊かな人間性と創造力・国際性を備えた人材の育成や、たくましく生きる力を育む教育を推進します。

< 教 育 目 標 >

- I 生きがいを持って生活できる学習環境の整備
市民が、生涯にわたって自発的に学び、芸術・文化・スポーツ等に親しむことを通して、生きがいを持って生活できる学習環境の整備を推進します。
- II 家庭・地域の教育力の向上と支援体制の充実
家庭や地域の教育力の向上に向けた取り組みを推進するとともに、学校、家庭、地域社会が連携して子どもを育てる環境づくりを推進します。
- III 「知・徳・体」の調和のとれた力を育む学校教育の推進
子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として生きる基礎となる「知・徳・体」の調和のとれた力を育む学校教育を推進します。
- IV 人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境の整備
豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、活用に努めるとともに、人吉市民としての誇り、郷土愛を育む環境整備を推進します。

各 課 の 努 力 目 標

[教育総務課]	[学校教育課]	[社会教育課]	[歴史遺産課]
1 安全で良好な教育環境の整備 ○ 安全・安心・快適な教育環境の整備促進 ○ 災害時避難場所としての安全確保 2 学校施設の有効活用 ○ 廃校施設の利活用等 ○ 学校林の廃止に向けた検討・協議 3 児童生徒の安全対策 ○ こども王国保安官による見守り活動の支援 ○ 地域ぐるみでの子どもの安全確保 4 学校予算執行の効率化 ○ コスト意識の徹底と効率的な予算執行の推進 5 教育目標、各具体的施策の実効ある推進 ○ 教育振興基本計画の推進 ○ 教育委員会の活発な議論の機会確保 ○ 教育委員会の事務に関する点検評価の充実 6 適正な奨学金制度の運用 ○ 経済的理由による就学困難者に対して利用しやすい奨学金の提供 ○ 返還金の滞納整理	1 「確かな学力」の育成 ○ 学力3要素の具体的実践 ① 「基礎的・基本的な知識技能」の習得 ② ①を活用して、課題解決に必要な「思考力、判断力、表現力等」の育成 ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の育成 【具体的実践】 ・熊本型授業の質を高める授業づくり ・言語活動の適切な位置づけ及び充実 ・国や県の学力調査問題、結果等の活用による授業改善(教材開発等) ・外国語教育の充実(グローバル人材の育成) ・ICT機器の効果的活用(指導方法の工夫) ・学習指導と学習評価の一体化 ・主体的な学習活動を支える学校図書館の整備・充実と読書の習慣化 ・家庭学習習慣の定着 ※各パワーアップ教室(基礎・基本)、花まる教室(思考力向上)等との連携・利用 2 「豊かな心」の育成 ○ 「命を大切にすること」「自然に対する畏敬の念」「自他を大切にすること」「郷土を愛する心」等の醸成と体験活動の工夫 ○ 「学ぶこと・働くこと・生きること」の意義を実感できる教育活動の展開 ○ 「熊本の心」等の活用と「心に響く道徳の時間」の実践・充実 ○ 人間関係・信頼関係を基盤とした生徒指導の実践 ○ 自己有用感を育む心の居場所(学校・学級)づくり 3 「健やかな体」の育成 ○ 授業の工夫・改善と教育活動全体をととした体力向上・健康教育の取組 ○ 危機管理体制と健康・安全・防災教育の充実 ○ 望ましい食習慣の育成 ○ 指針に沿った魅力ある運動部活動の推進 ○ むし歯予防がいの取組・実践	(生涯学習) 1 学校・家庭・地域社会の連携と教育力の向上 ○ 校区公民館を核に、地域と一体になった子どもの健全育成 ○ 学校支援地域本部事業等、地域で学校運営を支援する体制の整備とその普及 2 家庭教育力の向上 ○ 家庭教育に関する情報提供及び学習や相談の機会の提供と充実 ○ 子ども子育て相談員との連携 3 校区公民館活動の支援と連携 ○ 公民館(コミュニティセンター)事業の充実 ○ 公民館運営能力向上のための研修機会の充実 4 学習機会と情報の提供 ○ 成人、子どもを対象とした講座の効率的運用 ○ 公民館や学校・社会教育関連施設・機関・団体との連携推進 ○ 学習成果を活用できる場・機会の提供と学習人材バンクの構築の取り組み ○ 広報誌やホームページ等を活用した情報提供の推進 5 社会教育施設の整備・充実 ○ 公民館(コミュニティセンター)施設の整備・充実 ○ その他の社会教育施設の整備充実と利用促進 6 社会教育関係団体への支援及び連携の強化 ○ 各団体との連携強化と自主活動の支援 7 社会人権教育の推進 ○ 啓発活動や研修会・講座・学級等を通した人権教育の推進 ○ 第43回熊本県人権教育研究大会開催を契機とした人権啓発の推進 8 社会教育委員活動の活性化 ○ 地域における社会教育委員の主体的な活動の推進 ○ 教育活動における社会教育委員会議の積極的な活用 (スポーツ振興) 1 市民の健康及び体力づくりの推進 ○ 市民の健康増進を図るための各種スポーツ教室等の開催 ○ 体力づくり事業の実施及び市民体育祭の充実 2 生涯スポーツの普及・振興 ○ 市民誰もが取り組めるスポーツ・レクリエーションの普及・振興 ○ 市民のスポーツニーズに対応するための指導体制の充実 ○ 総合型地域スポーツクラブの普及・活動支援と学校運動部活動との連携についての調査・研究 3 スポーツ団体の育成 ○ スポーツ団体の組織強化と指導者の育成 ○ NPO法人人吉市体育協会を始めとした各種団体による研修会、講習会やスポーツ教室開催等の支援 ○ 競技人口の増加と競技力向上 ○ スポーツ少年団の育成と活動活性化 4 スポーツを通じた交流推進 ○ 行政・市民・地域が連携した各種スポーツイベントの開催及び誘致 ○ ひとよし春風マラソン支援体制の充実 ○ スポーツ振興基本計画の策定 ○ 体育施設の長寿命化計画の策定 ○ 体育施設の安全マニュアルの策定 ○ 長崎がんばらば国体への支援 ○ 第34回九州ブロック大会への支援 5 スポーツ施設整備と利用推進 ○ 指定管理者の効率的、効果的な施設の管理運営 ○ 既存施設の整備と機能充実 ○ 多目的運動広場の整備に向けた取り組みの推進	1 地域力となる歴史遺産群の保存活用への推進 ○ まちづくりのシンボル、人吉城の整備の推進 ○ 楽しく安全に見学できる大村横穴群の保存整備の推進 ○ 新たな歴史遺産の調査による指定・登録の推進 ○ 国宝・重要文化財等建造物の保存活用支援 ○ 文化財広域連携による「相良歴史回廊」の推進 2 教育力・観光力となる人吉城歴史館運営 ○ 魅力ある常設展示・企画展示の推進 ○ 学校と連携した児童・生徒の歴史学習の拠点づくり ○ 市民歴史学習の推進 ○ 人吉球磨の歴史遺産情報の発信基地づくり ○ 地域観光との連携推進
[市民文化課]			
1 文化振興(芸術・文化の推進) ○ 「熊本県子ども芸術祭2014in人吉」の成功 ○ 「犬童球溪顕彰音楽祭」の見直し ○ 「人吉球磨総合美展」の出品者の拡大 ○ 自主文化事業の充実 ○ 人間国宝「六代山勢松韻」人吉公演(其の弐)の遂行 ○ 「第2回球磨の民謡全国選手権大会」への助力 ○ 各種文化団体の育成と支援 2 施設管理(文化施設の整備充実) ○ 大規模改修事業「第Ⅱ期工事」の成功へ向けての取組 ○ 快適で安全な利用のための施設環境の充実 ○ 来館者へのきめ細かなサービスの提供 ○ 新料金システムによる会館管理の徹底 3 図書館事業の充実 ○ 図書館蔵書の充実 ○ サービスの充実と利用促進 ○ 子ども読書活動の推進 ○ 積極的な広報活動の推進 ○ 郷土に関する資料の調査・収集 ○ 図書館の情報化・システム化の推進 ○ 読書ボランティア・関係機関等との連携・協力			